

平成17年度 紫峰会[筑波大学学生後援会] 事業計画書

【基本方針】

- 1 広報・渉外活動を充実させ、課外活動・学生生活の安定・発展を促しつつ、学生支援の輪の強化・拡大を図る。
- 2 大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通と高品質化を図ることによって、学生および関係者の大学への帰属意識や相互の連帯意識を高めるとともに、収支の健全化を目指す。
- 3 個人情報保護法への対策を進めるとともに、対象者データベースの充実を図る。
- 4 広報関係業務を中心に事業内容の調整を行い、業務遂行体制の強化を図る。

【各事業】

1) 運営支援事業

目的；課外活動等の関連情報を提供し、学生の団体・組織の運営の安定・充実を促す

対象；学生の団体・組織

内容；会計面接、運営相談、課外活動に関する情報収集など

組織；課外活動資料室 [課外活動相談室]

目標；サークル会計運営の円滑化及び担当者の育成、サークル・組織役員の交流の促進、課外活動情報の効果的な提供を行う。

2) 財政支援事業

目的；学生の諸活動を推進・育成する団体・組織・機関や学生個人の財政を補助し、課外活動や学生生活の発展・充実を促す

対象；学生の団体・組織、学生個人、学内関係機関

内容；各種助成金の給付、一時資金の貸付

組織；学生財務会議

目標；援助金の公平配分と援助金支給の新たな枠組み作り、貸付事務体制の強化を図る。

3) 生活支援事業

目的；学生等の相談を受け、必要な情報を提供し、就職活動や学生生活の充実を促す

対象；学生またはその父母等

内容；生活相談、生活関連情報（アルバイト、アパート、就職活動など）の収集・提供

組織；[生活相談室・就職活動相談室]

目標；貸付面接の円滑化と紹介教員・保証人との連絡の強化、生活情報の効果的提供を行う。

4) 広報渉外事業

目的；会員など学生に関わりのある人々に情報を提供し、支援の輪の強化・拡大を図る

対象；会員または入会案内対象者（地域住民、企業等を含む）など

内容；会報編集・発行、学内情報照会、入会促進、人的つながりの開拓

組織；学生広報会議

目標；会員への情報提供による学生諸活動の認知度の向上、有効な入会案内による父母等会員の入会率の向上、団体賛助（協賛会員）・地域賛助会員・学内賛助会員の拡大を図る。

5) サークル・サポート事業(天久保店)

目的; 学生やOB等の集团的・組織的活動における関係作りの利便性を高め、その活動の発展・充実を促す。

対象; 学生の団体・組織、OB団体など

内容; 天久保店での、プリントサービス、事務機器供用サービス、名簿関連サービス

組織; 天久保バイトチーム

目標; 団体等の運営の便宜を図り、情報交流拠点としての充実を図る。

6) グッズ&メディアサポート

目的; 大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通・高品質化を図り、大学への帰属満足度や連帯意識を高める

対象; 学生個人・団体・組織、会員、来学者等

内容; UTcollection (UTcollection 企画・開発・販売 商品売上)

UTservice (学生やOBの団体などのCIグッズ・媒体等を受託制作 商品売上等)

UTlife (就職活動や生活に役立つ情報などを協賛会員等から集め学生等に伝達 広告料等)

UT・Contents (ホームページの受託制作、メーリングリストサービスなど 手数料等)

組織; UTcollection 企画室・UTclub UTclub UTlife 編集局 NetProject

目標; 筑波大学のCI活動を支援するとともに、売上の増加を図る。

7) パーソナル・サポート事業(追越店)

目的; 学生の学習・生活環境の利便性を高め、大学生活の安心・充実を図る

対象; 学生、会員など

内容; 追越店での、コピー・出力・製本・FAXなどのサービス、文具・雑貨(UTcollection等)販売、損害保険取次サービス(学生総合補償制度等)

組織; 追越バイトチーム

目標; 一般学生や大学院生などより多くの学生の生活や学習の便宜を図り、紫峰会の認知度を高める。

8) 付随的収益事業

【管理運営】

会議; 理事会(年2回) 顧問連絡会(年2~3回)

役員および職員; 別紙参照

会員管理; 会報発行毎(年5回)および年度末に集計

会計処理; 事業区分を簡素化し処理効率を上げる

予算管理; 月末試算表、資金繰り表

福利厚生; 職員健康診断の完全実施、通勤手当、社会保険など

組織 = 業務遂行補助組織、[] は改組、設置を検討